

厚生労働大臣

坂口 力 殿

2001年9月13日

全日本民主医療機関連合会

会長 高柳 新

## 卒後研修必修化についての要望書

はじめに

全日本民医連は、70年代初頭から、各地域でのセンター病院を軸にしながら、中小病院や診療所などを研修の場として位置付け、プライマリケアを重視した医師研修に取り組んできました。30年にわたり約3000名の研修修了者を送り出してきたこととなります。

この経験を踏まえ、全日本民医連は、1998年3月に「日本の医師の卒後研修を改善するための民医連の提案」を発表しました。国民の期待に応え、人権を守る医師養成のための5つの提案を行い、同時に、医学生、医師、医療従事者、そしてすべての国民に広範な討論を呼びかけてきました。

2004年の卒後研修必修化にむけて、今こそ医師養成制度全体を国民の期待に応える医師づくりをすすめる方向に改革していくことが求められています。医道審議会医師分科会臨床研修検討部会でのこの間の議論を踏まえ、私たちは以下のことを要望します。

一、国民の立場に立った、今後養成すべき医師像について明確にし、プライマリケア重視の全人的、総合的な制度へと充実すること

「インフォームドコンセントなどの取組や人権教育を通じて医療倫理の確立を図るとともに、精神障害や感染症への理解を進め、プライマリケアやへき地医療への理解を深めることなど全人的、総合的な制度へと充実すること」(付帯決議)に基づき、大病院の入院医療中心ではなく、プライマリケアの臨床能力を修得するのに不可欠とされている中小病院や診療所などの第一線医療機関での研修をさらに広げること。そして、救急医療や慢性期医療、外来・在宅医療などを担う医療機関を研修の場として積極的に活用し、研修施設群の多様な組み合わせを認め、積極的に位置付け活用すること。臨床研修病院との統一した共通研修カリキュラム、医療機関のネットワーク、指導医の交流など、地域医療が持っている研修医育成の力量を積極的に引き出し、研修の質を担保する措置を講じること。そしてストレート研修を廃し、プライマリケアを重視した研修を飛躍的に前進させること。

#### 一、臨床研修病院の基準を抜本的に見直し適正な配置を行うこと

現在、大学付属病院と臨床研修病院における研修比率は3対1と報告されているが、臨床研修病院での研修の比率を高めるために、研修医の数に比して不足している臨床研修病院の数を増やし、各都道府県の格差を是正した適正な配置を行うこと。そのために、大病院中心のハード面に偏った指定基準を見直し、プライマリケア研修、症例数を重視する観点から病床数を引き下げる。診療科目については、コアカリキュラムが実施できる基準に見直すこと。さらに、現状では臨床研修病院が大都市に集中する傾向にあり、地方都市の医師充足率などの現状から地方での基準の緩和措置についても検討すること。

#### 一、卒後研修に対する国の責任をあらためて明確にし、研修環境整備につとめること

政府自身が推し進めようとしている「聖域なき構造改革」は医療への財政出動を削減することを謳っており、多くの医学生や研修医、大学関係者、研修病院の不安が高まっている。必修化を前にして、「痛み」を研修医、指導医、研修施設などに転嫁するのではなく、政府は研修環境整備に責任ある態度を表明すべきである。医師養成に関する費用は保険財政ではなく国家財政から支出する立場を明確にし、卒後研修の実態を明らかにし、研修医の経済保障、指導医の養成と確保及び処遇に対する保障、臨床研修病院に対する財政支出などの方策を明示することこそ必要である。

#### 一、研修医の給与、労働条件の抜本的改善をただちに行うこと

研修医の過労死問題が投げかけている深刻な実態を直視し、アルバイトをせずに生活できかつ研修に専念できる研修医の給与の保障をおこなうこと。また、健康保険・労災保険の加入や福利厚生を含めた常勤雇用の身分制度を確立すること。「研修医は労働者」との判断に基づき研修医の労働条件の改善、特に労働時間の短縮など抜本的な改善を必修化を待たずにただちに行うこと。

#### おわりに

このように国の責任を明確にし、臨床研修の環境整備を行えば、研修充実のための3条件（身分経済の保証、教育の保証、研修の機会均等）が確保され、研修医は、自由に自主的に研修施設を選択でき、指導医の交流も始まり、市民の参加も含めた時代の要請に応えた、開かれた医師養成へつながると考えます。

臨床研修検討部会の「論点検討」を議論していく上で、情報公開はもちろん、より多くの団体・個人の意見を取り入れるための公開論議の場の設定、委員の補強なども合わせて要望する。わたしたち全日本民医連もふくめ、中小病院での研修の実績のある民間医療機関の声を代表する委員の比重を大幅に引き上げていただくことを要請いたします。

以 上